

六年生 国語 学習プリント

六年 組 名前



説明的文章 「時計の時間と心の時間」 筆者 一川 誠

教科書 P48～56

1 次の事例は「時計の時間」か「心の時間」のどちらでしようか。例を参考にしながら考えてみましょう。④は自分で作ってみましょう。

(例) カップラーメンはお湯を入れて三分で出来あがる。		
①	ゲームに夢中になっていて、気が付いたらご飯の時間だった。	心
②	お母さんの買い物につき合わされたので一日が長かった。	心
③	この映画の上映時間は八十分で、他の作品と比べると短い。	時計
④	おなががすいて、ご飯の時間までが待ち遠しかった。	心

2 筆者の主張は、どの段落にどのように書かれていますか。

8 段落 「心の時間」を頭に入れて、「時計の時間」を道具として使うという、「時間」と向き合うちえが私たちには必要。

3 筆者は「心の時間」の特性について四つの事例を挙げながら説明しています。その事例を見付けて、次の表にまとめましょう。

事例1	楽しいときとたいくつな時の	時間の感じ方
事例2	(体の動きと) 時間の感じ方
事例3	(身の回りの環境による) 時間の感じ方
事例4	(人によって異なる感覚による) 時間の感じ方

4

筆者の主張に対して、あなたはどのように考えましたか。次の手順に
 そって自分の考えをまとめよう。

三つのうちのどれかに○をつけよう。

自分の考え	ステップ②	ステップ①
<p>あの時は、なんでだろうと思っていましたが、この文章を読んで、人それぞれに「心の時間」があることを知り納得できました。今度からは、おたがいに気づかないながら調べ学習をしていきたいです。</p> <p>また、その結果、予定通り調べることができなくなってしまいました。</p> <p>それは、私にも、友達との「心の時間」のちがいを感じた経験があるからです。班で地域文化の調べ学習をした時、私の歩くスピードがみんなよりも速かったようで、もっとゆっくり歩いてと言われてきました。私は普通に歩いていただけだったので言い合いになってしまいました、その結果、予定通り調べることができなくなってしまいました。</p>	<p>私は、「時計の時間と心の時間」を読んで、人それぞれに「心の時間」の感覚がちがうことを意識することが大切だという筆者の主張に、特に共感しました。</p> <p>それは、私にも、友達との「心の時間」のちがいを感じた経験があるからです。班で地域文化の調べ学習をした時、私の歩くスピードがみんなよりも速かったようで、もっとゆっくり歩いてと言われてしまいました。結局、予定通り調べることができなかつた。</p> <p>へステップ①とステップ②を使って、自分の考えをまとめよう。く</p>	<p>へ筆者の主張のどの部分に共感・納得・疑問に思ったか。く</p> <p>人それぞれに「心の時間」の感覚がちがうことを知っていれば、他の人と一緒に作業するときも、たがいを気づかないながら進められる。</p> <p>へステップ①のことは、自分のどのような経験がもとになっているか。く</p> <p>班で地域文化の調べ学習をした時、私の歩くスピードがみんなよりも速く、もっとゆっくり歩いてと言われて言い合いになった。結局、予定通り調べることができなかつた。</p>

💡【学校が始まったら友達と考えを交流するのもいいですね。】